

農地整備事業(経営体育成型)
県営土地改良事業変更計画書

しと おり なが た ち く
倭文長田地区

ひょうごけん
兵庫県

第 1 章 目 的	1	1. 道路概況	12
第 2 章 地域及び地積	2	2. 主要道路一覧表	12
第 1 節 地 域	2	第 5 節 地域農業の概況	14
第 2 節 地 積	2	1. 産業別就業人口	14
第 3 章 現 況	3	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	14
第 1 節 気象及び海象	3	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	14
1. 一般気象	3	4. 主要作物作付状況	15
2. 特殊気象	3	5. 農業の動向	15
3. 海 象 (該当なし)	3	第 6 節 地域環境の概況	16
第 2 節 土地状況	4	第 4 章 一般計画	17
1. 地形、土壌及び浸食の程度	4	第 1 節 事業計画の要旨	17
2. 土地分類 (該当なし)	4	1. 要 旨	17
3. 土地利用の状況	5	2. 事業別面積	17
4. 土地所有の状況	5	第 2 節 営農計画及び土地利用計画	18
第 3 節 水利状況	6	1. 営農計画の概要	18
1. 用水状況	6	2. 土地利用区分	18
2. 排水状況	8	3. 作付方式	19
3. 河川状況	12	4. 生産計画	20
第 4 節 道路現況	12		

5. 労働改善計画・・・・・・・・・・・・・・・・	20	第7節 洪水調節計画（該当なし）・・・・・・	36
6. 級地別土地利用区分（該当なし）・・・・	21	第8節 干拓計画（該当なし）・・・・・・	36
7. 土地配分計画（該当なし）・・・・・・	21	第9節 農用地整備計画・・・・・・・・・・	37
第3節 用水計画・・・・・・・・・・・・・・・・	22	1. 区画整理・・・・・・・・・・・・・・・・	37
1. 計画基準年・・・・・・・・・・・・・・・・	22	2. 暗渠排水・・・・・・・・・・・・・・・・	38
2. 計画かんがい方式・・・・・・・・・・	22	3. 客土（該当なし）・・・・・・・・・・	38
3. 計画用水系統・・・・・・・・・・	22	4. 農地保全（該当なし）・・・・・・・・	38
4. 計画用水量・・・・・・・・・・	23	第10節 老朽ため池改修計画（該当なし）・・	38
5. 水源計画・・・・・・・・・・	25	第11節 獣害防護柵・・・・・・・・・・	38
第4節 排水計画・・・・・・・・・・・・・・・・	29	第5章 主要工事計画・・・・・・・・・・	40
1. 計画基準雨量・・・・・・・・・・	29	第1節 用水施設・・・・・・・・・・	40
2. 計画排水方式・・・・・・・・・・	29	1. 貯水池（該当なし）・・・・・・・・	40
3. 計画排水系統・・・・・・・・・・	29	2. 頭首工（該当なし）・・・・・・・・	40
4. 計画排水量・・・・・・・・・・	31	3. 揚水機（該当なし）・・・・・・・・	40
5. 排水対策・・・・・・・・・・	31	4. 用水路・・・・・・・・・・	41
6. 湛水検討（該当なし）・・・・・・	33	5. その他かんがい施設（該当なし）・・	42
第5節 道路計画・・・・・・・・・・・・・・・・	34	第2節 排水施設・・・・・・・・・・	43
1. 道路及び索道・・・・・・・・・・	34	1. 排水水門（該当なし）・・・・・・	43
2. 路線配置図・・・・・・・・・・	34	2. 排水機（該当なし）・・・・・・	43
第6節 農用地造成計画（該当なし）・・・・	36	3. 排水路・・・・・・・・・・	44

4. その他排水施設（該当なし）	44
第3節 道路及び索道	45
1. 道路	45
2. 索道（該当なし）	46
第4節 農用地造成（該当なし）	46
第5節 洪水調節施設（該当なし）	46
第6節 干拓施設（該当なし）	46
第7節 農用地整備施設	47
1. 区画整理	47
2. 暗渠排水	47
3. 客土（該当なし）	48
4. 除礫（該当なし）	48
5. 農地保全（該当なし）	48
第8節 老朽ため池改修施設（該当なし）	48
第6章 附帯工事計画	49
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	49
第8章 環境との調和への配慮	50
第9章 換地計画の概要	51
第1節 換地計画を作成する上での 基本的な考え方	51

第2節 換地区の設定	51
1. 換地区の名称、所在、面積	51
2. 換地区を設定する理由	51
第3節 換地計画樹立の基本方針	51
1. 従前の土地の地積の基準	51
2. 用途別予定地積	52
3. 農用地集団化の方針	52
4. 非農用地の換地の方針（該当なし）	53
第4節 土地の評価及び清算の方法	54
1. 評価の方法	54
2. 清算の方法	54
第5節 換地計画樹立の年度計画	54
第6節 換地処分の特則に関する特則	55
第10章 事業費の総額及び内訳	57
第11章 効用	58
第12章 関連する事業（該当なし）	59
第13章 現況・計画図面	59
1. 現況平面図	59
2. 計画平面図及び土地利用計画図	59
3. 主要構造図	59

第 1 章 目 的

南あわじ市は、兵庫県淡路島の南西部に位置し、南に鳴門海峡、西に白砂青松の慶野松原、中心に温暖な三原平野が広がり、総面積は229.01km²である。市域は三原川に沿って開け、緑町、西淡町、三原町、南淡町の三原郡4町が2005年1月11日に合併し、市制が施行している。自然条件としては温暖で雨の少ない瀬戸内気候に属し、四季ともに温和で穀物、野菜の栽培に適している。本地区の地形は長田川の台地地形である。

本地区では、恵まれた地理条件と気候条件に加え、高度な農業技術を生かして同じ土地で年3回農作物を栽培する三毛作が営まれており、特産の甘くて柔らかい淡路産玉ねぎは北海道、佐賀県に次ぐ生産地である。また、レタスなどの生鮮野菜は大型消費地である京阪神に即日出荷されており、野菜の供給源として大きな役割を担っている。

市内でも農業の盛んな地区であるが、個人による投資や農地の高い稼働率、水利権などの問題を背景に基盤整備が未済である。しかしながら今日の農産物価格の低迷や農家での主となる労働者の高齢化が進んでおり、ほ場整備による担い手の整備が緊急の課題となっている。

本市の農業は京阪神地域に対する食料の供給に大きな役割を果たすと共に、農水産物の生産の場としてだけでなく「食」を柱とした地域の安全・安心の確保や他産業との連携による雇用や交流創出など多様な活動に生かしていく。さらに地域の豊かな自然と地域社会の住民と行政などとの「共生」をはぐくみながら、だれもが生涯現役でいつまでも暮らし続けられる環境を創造する必要がある。

よって、この様な状況に対応する為、倭文長田地区未整備24.6haに対しほ場整備及び導水路を計画し、田畑輪換営農体系に適した汎用耕地化を図り、水稻-野菜の輪換作業体系を確立し、より収益性の高い作物での営農を可能とするとともに、農用地の集団化を図り中型機械の導入により労働力を抑制し、労働力の軽減(特に女性)を図る事、また、環境に配慮することにより自然との共生を目的として当農地整備事業を樹立したものである。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	種目	地 域
農地整備事業 (経営体育成型)	区画整理	南あわじ市倭文長田
	農業用排水施設整備	〃

第2節 地 積

(令和6年 3月現在)

(第2表)

事 業 名	現況地目	種目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名								
農地整備事業 (経営体育成型)	南あわじ市	区画整理	16.9	0.2	-	0.3	1.9	19.3	
		農業用排水施設整備	5.3	-	-	-	-	5.3	
		計	22.2	0.2	-	0.3	1.9	24.6	

第 3 章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一 般 気 象

(第3表-1)

観測所名	神戸海洋気象台南淡観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	1980年～2010年	6月～9月	10月～5月		
平均気温 (°C)		25.2 °C	11.7 °C	18.5 °C	
降水量	平均 (mm)	592.0 mm	640.7 mm	1,232.7 mm	
	基準年 (mm)	265.0	533.0	798.0	基準年 2000年(H12)
降水日数	平均 (日)	37 日	64 日	101 日	
	基準年 (日)	19	52	71	基準年 2000年(H12)
根雪期間	該当なし				
無霜期間	— 年 — 日 ~ — 年 — 日				
最多風向	南	最大風速		最大 : 13.2m/s	発生時期 -月 ~ -月 発生年月日

2. 特 殊 気 象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
神戸海洋気象台南淡観測所	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間	1979年～2016年															
最大日雨量 (mm)	272.0	1985.8.12	/	256.0	2011.9.20	/	248.0	2004.10.20	/	234.5	2013.9.15	/	234.0	1979.9.30	/	
最大時間雨量 (mm)	110.0	1979.9.30	/	81.0	1990.9.18	/	74.0	1985.8.12	/	74.0	1990.9.18	/	74.0	1999.6.29	/	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	/	-	-	/	-	-	/	-	-	/	-	-	/	
最大連続雨量 (mm)	400.0	1990.9.14 ~9.20	/	396.0	2011.9.16 ~9.21	/	323.5	2014.8.1 ~8.6	/	315.0	2013.9.15 ~9.16	/	303.0	2004.10.19 ~10.20	/	
最大連続干天日数 (日)	47	1981.7.13 ~8.28	/	46	2007.11.6 ~12.21	/	41	1998.7.28 ~9.6	/	41	2005.7.11 ~8.20	/	41	2010.8.13 ~9.22	/	

3. 海象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考	
		傾斜区分	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高		最低
			以下	～ 1/100	～ 1/20	～ 1/11.5	以上				8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農地整備事業 (経営体育成型)	面積(ha)	-	1.6	9.5	5.8	-	16.9	-	-	-	-	-	-	0.2	0.2	45	15	区画整理	
		-	5.3	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-	-	農業用排水	
		-	6.9	9.5	5.8	-	22.2	-	-	-	-	-	-	0.2	0.2	-	-	計	
	比率(%)	-	31	43	26	-	100	-	-	-	-	-	-	100	100	-	-	平均傾斜 1/20	

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土壤統(区)区分一覧表								面積(ha)		備考 (土壤番号)	
	土壤断面								堆積様式	母材		事業名 農地整備事業(経営体育成型)
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層				
					表土 一層	下層土 二層	三層					
灰色土壤 粘土マンガン型	灰黄色	なし	なし	40～10%	SiL	SL・SCL	SL・SCL	なし	沖積		2.5	F51(田)※区画整理
灰色土壤 壤土マンガン型	黄灰色	なし	円礫あり	50～5%	SL	SCL	SCL	〃	〃		14.4	F53(田)※区画整理
灰色土壤 壤土マンガン型	黄灰色	なし	円礫あり	50～5%	SL	SCL	SCL	〃	〃		0.2	F53(畑)※区画整理
灰色土壤 壤土マンガン型	黄灰色	なし	円礫あり	50～5%	SL	SCL	SCL	〃	〃		5.3	F53(推定)※農業用排水施設整備
											22.4	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和4年12月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 地 放 牧 地	原 野	そ の 他	計	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農地整備事業 (経営体育成型)	南あわじ市	22.2	0.2					0.3				1.9	24.6	

4. 土地所有の状況

(令和4年12月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人所有	国 有	県 有	市 有	そ の 他	計	備 考
		農地整備事業 (経営体育成型)	面 積 (ha)	23.5			1.1	
受 益 者 数 (人)	77						77	
筆 数 (筆)								
権 利 関 係	所有権・貸借権				所有権			
	備 考 (関係受益者数)	(77 戸)					(77 戸)	

第3節 水利状況

1. 用水状況

本地区は、ため池に用水源を求めている。地区内の水路はほとんど用排兼用水路で、一部は田越しかんがいをやっている所もある。用水系統は依然として複雑な利水を行っている。

(1) 用水系統

現況用水模式図参照

(2) 用水施設

(7) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量 m ³ /S	備考
		500ha以上		500～100ha		100ha未満		箇所	ha	箇所	m ³ /S	箇所	m ³ /S		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農地整備事業 (経営体育成型)	貯水池					4	17.1	4	17.1	-	-	4	0.0444	-	区画整理
	貯水池					1	5.3	1	5.3	-	-	1	-	-	農業用排水
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					5	22.4	5	22.4			5	-		

(i) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模 (m)	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農地整備事業 (経営体育成型)	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	1	17.1 5.3	コンクリート水路	1,929 m	不明	区画整理による水路法線変更及び水の有効利用の為。 既存水路の老朽化および用水管理の効率化の為。	用排兼用※区画整理 ※農業用排水
	その他							
	計	1	22.4		1,929.0 m			

(3) 用水に関する被害状況

該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

2. 排水状況

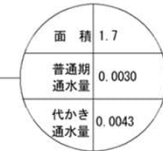
(1) 排水系統

現況排水模式図参照

現況用水系統模式図

神戸淡路鳴門自動車道

ブロック名	2		
面積	0.5		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0009	0.0009	
代かき期	0.0013	0.0013	

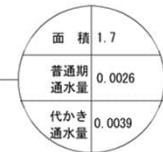


大池

ブロック名	2		
面積	1.2		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0021	0.0021	
代かき期	0.0030	0.0030	

県道洲本松帆線

ブロック名	1		
面積	0.2		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0003	0.0003	
代かき期	0.0005	0.0005	



寒田池

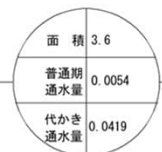
ブロック名	3		
面積	11.2		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0195	0.0195	
代かき期	0.0278	0.0278	



川池

ブロック名	1		
面積	1.5		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0023	0.0023	
代かき期	0.0034	0.0034	

ブロック名	-		
面積	3.6		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0054	0.0054	
代かき期	0.0419	0.0419	



盆の池

(農業用排水)

ブロック名	4		
面積	3.2		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0054	0.0054	
代かき期	0.0080	0.0080	



ヤナ池

凡 例	
---	地区界
□	地区内
○	地区外
○	通水量
○	還元水量
○	排水機場
---	本事業施工水路
---	他事業又は施設利用
△	ため池

現況排水系統模式図

神戸淡路鳴門自動車道

県道洲本松帆線

← 長田川



ブロック名	2
面積	5.6
排水量1/2	0.191
排水量1/10	0.382

ブロック名	2
面積	48.6
排水量1/2	3.032
排水量1/10	6.054



ブロック名	1
面積	13.1
排水量1/2	0.191
排水量1/10	0.382

ブロック名	1
面積	35.6
排水量1/2	0.952
排水量1/10	1.904

凡 例	
-----	地区界
□	地区内
□	地区外
———	本事業施工水路
———	他事業又は既設利用

(2) 排水施設

(7) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計	排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考	
			500ha以上		500～100ha		100ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					箇所
農地整備事業 (経営体育成型)	自然	排水路					2	102.9	2	102.9	河川へ自然排水	8.72	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						2	102.9	2	102.9			

(1) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模(m)	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農地整備事業 (経営体育成型)	自然	排水路	1	22.4	コンクリート水路	1,929	不明	区画整理による水路法線変更と用排分離のため	用排兼用
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計		1	22.4		1,929m			

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考
長田川	ブロックマット護岸	1/300	整形	50		2級河川三原川水系

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

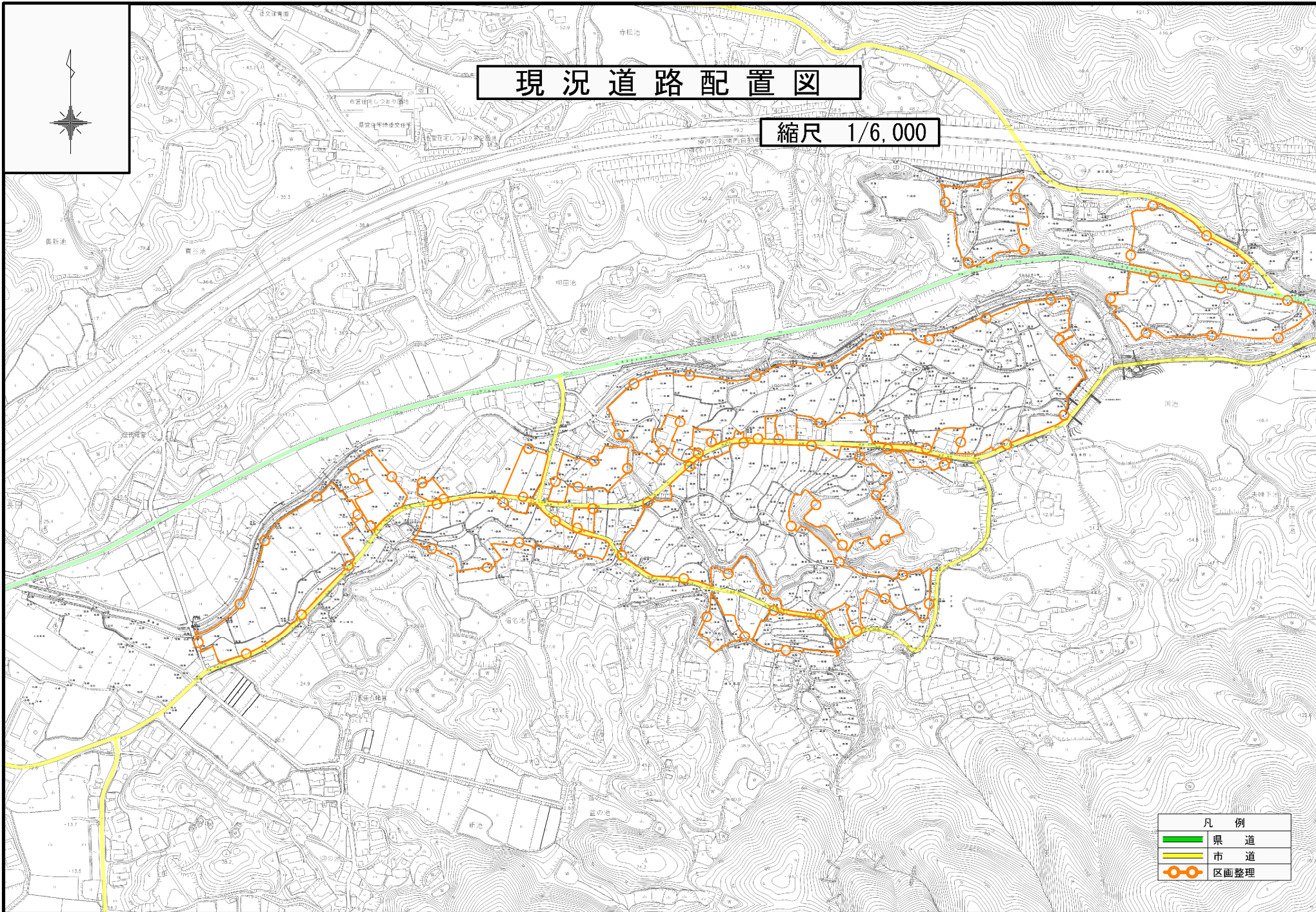
第4節 道路現況

1. 道路概況

現況道路配置図参照

2. 主要道路一覧表

該当なし



第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸売小売 業飲食業	金 融 保険業	不動産業	サービス業	公 務	その他	備 考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
南あわじ市	25,389	5,550	11	455	3	1,704	3,966	82	876	3,556	408	170	7,485	637	486	
比率(%)	100.0	21.9	0.0	1.8	0.0	6.7	15.6	0.3	3.5	14.0	1.6	0.7	29.5	2.5	1.9	

平成27年国勢調査より

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専業別農家数(戸)		備 考			
		例外規定 の適用を 受ける もの	0.3 未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 以上	自給 的農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一 戸 当 たり 団 地 数 (戸)	団 地 当 たり 面 積 (ha)		専 業	兼 業	
			0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	第1種	第2種														
南あわじ市	4,108	23	49	494	1,704	796	229	107	28	6	2	1	669	0.91	0.09	0.41	1.41	0.23	1.64	5	0.2	1,183	726	1,530	
比率(%)	100.0	0.6	1.2	12.0	41.5	19.4	5.6	2.6	0.7	0.1	0.0	0.0	16.3	55.5	5.5	25.0	—	14.0	100.0	—	—	28.8	17.7	37.2	

2015年農林業センサス

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具						主 要 家 畜										備 考
	田 植 機		ト ラ ク タ ー		コ ン バ イ ン		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏		プ ロ イ ラ ー		
	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(羽)	戸数(戸)	数量(羽)	戸数(戸)	
南あわじ市	2,334	2,324	3,514	2,799	1,961	1,945	3,570	119	×	278	1,096	3	×	2	16,200	3	"×"は秘密保護上統計数値を 必要としないもの
100戸当たり 数量(台、頭)	100		126		101		3,000		-		36,533		-		540,000		
利用戸数 割合(%)	42.0		50.0		35.0		2.0		5.0		0.0		0.0		0.0		

2015年農林業センサス

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名		南あわじ市		計	平均	作 付 率 (%)	備 考	
総 耕 地 面 積 (ha)		3,468		3,468				
区 分		作 物 名	作 付 面 積 (ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)		
田	表 作	水 稻	1,885	502	1,885	502	54.4	
	裏 作	野菜類	1,342	5,664	1,342	5,664	38.7	たまねぎ
		その他	-	-	-	-	-	-
	小 計			3,227		3,227		93.1
畑	春 夏 作	野 菜 類	42	2,562	42	2,562	1.2	レタス
	秋 冬 作	野 菜 類	42	2,562	42	2,562	1.2	レタス
	小 計			84		84		2.4
樹 園 地	果 樹		42	-	42	-	1.2	
	そ の 他		0	-	0	-	0.0	
	小 計			42		42		1.2
計			3,353		3,353		96.7	
市 町 村 別 延 べ 作 付 率 (%)			96.7		96.7			

2015年農林業センサス

5. 農 業 の 動 向

(第7表-5)

項目	農 家		土 地		主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考	
	B	A	B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A			
変化の状況 (0年を100とする指数)	総農家数	94	85	耕地	99	96	水 稻	99	89	乳用牛	68	49	田植機	88	69	A:平成27年(2015) B:平成22年(2010) C:平成17年(2005)
	専業農家数	118	129	田	98	95	ばれいしょ	50	20	肉用牛	90	-	トラクター	95	84	
	第1種兼業農家数	70	62	畑	127	132	大豆	48	37				コンバイン	85	72	
	第2種兼業農家数	92	77	樹園地	115	90										
	農業従事者数	89	76													
変化の理由	小規模農家への農業離れおよび他産業への流出により、農家数が減少している。一方、規模拡大等を踏まえた専業志向により、専業農家が増加している。		樹園地の減少は、農業従事者の高齢化及び後継者不足に伴い、樹園地管理が困難になるケースが多いためと考えられる。農家数が減少する一方で畑地面積が増加しているのは、野菜指定産地化による、たまねぎ、レタス等の畑地栽培が盛んになった影響を受けたものと思われる。		耕地面積の減少や転作に伴い、水稲が減少した。土地改良事業の実施に伴う農地の汎用化、野菜指定産地等により地域に適合した作物の作付けが図られている。 ※ たまねぎについては、統計数値に作付面積がなくなったため掲載できなかった。			後継者不足等により各家畜とも減少傾向にある。また家畜の種類により、飼育環境や輸入等の影響を受け、減少の割合は大きくなる。 ※ 肉用牛については、統計の飼養頭数数値が無かったため掲載できなかった。			動力農機具の所有台数は、農家の減少割合と概ね同じ傾向で減少しており、共同利用などの影響もあり減少している。農作業の機械化は概ね完了している。					

2015年農林業センサス

第6節 地域環境の概況

本地域が位置する南あわじ市は、兵庫県の南端部に位置する淡路島の南西部に位置し、南に鳴門海峡、西に白砂青松の慶野松原、中心に温暖な三原平野が広がり、人形浄瑠璃に代表される歴史と文化の豊かなまちである。

本市緑地区では、地形や水系といった環境構造を保全することが基本であり、「山地・扇状地」や「台地」ではダム・ため池・湧水・古井戸・谷筋、「下流域」では排水路・クリークを貴重な水資源として保全していくことが今後の課題である。

本地区の水田及び周辺水路には、メダカ等の貴重な魚介類が生息しており、環境保全として重要な役割を果たしている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

近年、農業を取りまく情勢は極めて厳しいものがあり、農家の殆どが兼業の形で農業経営に当たっているが、働き手の高齢化による労働力不足が深刻化し、農業機械設備に過剰な投資を行う不経済性に加え、耕作放棄田の増加に拍車がかかっている。

農業の生産性向上、効率的な安定的な経営の確立を得る為に当事業を実施し、区画形質の改善、用排水路、道路等の総合的な整備、点在耕地の集団化等を図り、近代的な高性能農業機械を利用することにより、生産性の高い農業を展開する。

更に、省力化によって生ずる余剰労働力を活用して、米作偏重農業からの脱却に努め、農地の利用増進と集落営農にも積極的に取組み、新しい農業構造を構築し、多様化する食糧需要に対応すべく経営体を整える。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分	農地整備事業(経営体育成型)					備考
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	計	
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	15.0	0.7	-	-	15.7	
農業用排水 施設整備	5.3	0.0	-	-	5.3	
計	20.3	0.7	-	-	21.0	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

農業の競争力を強化するための方策として、温暖な気象条件と平坦な農地など有利な立地条件を生かしながら、農業の大区画化による大型機械化に取り組む農業経営を育成するために、次の事項を基本とした。

1) 生産基盤の整備

省力化のための大型機械化農業を進めるための農地・農業水利施設の整備や大型機械体系の導入による耕地利用率の向上により、生産性の高い農業を育成する。

2) 農地の流動化促進と担い手農家の育成

農地の流動化により、担い手農家への農地集積・集約化を行い、農業経営の規模拡大を図る。

3) 生産者組織の育成、強化

生産技術の向上と良品安定生産、さらに計画的な出荷を進めるため生産者組織の育成、強化を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他の 果樹園	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地整備事業 (経営体育成 型)	現況	22.2	0.2					22.4		0.3	1.9	24.6	
	計画	20.3	0.7					21.0			3.6	24.6	

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
	土地利用区分	作物名	現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加		
農地整備事業 (経営体育成型)	水田	水稻	9.6	8.7	△ 0.9	43	44	499	509	10	47.9	44.3	△ 3.6	△ 4.5	0.9	作付減、水管理改良	
	裏作	レタス	0.6	18.7	18.1	3	94	2,389	2,389	0	14.3	446.7	432.4	432.4		作付増	
		たまねぎ	0.6	5.9	5.3	3	30	6,098	6,098	0	36.6	359.8	323.2	323.2		作付増	
	普通畑	春夏作															
		レタス	0.1	0.5	0.4	50	100	2,389	2,389	0	2.4	11.9	9.5	9.5		作付増	
	秋冬作																
	計	10.9	33.8	22.9	49	166				101.2	862.7	761.5	760.6	0.9			

↑ 整地面積を分母として算出 ※経済効果(水張面積を分母とする)の作付率とは数値が異なる。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)			備考
	土地利用区分				現況			
					区	分	減	
農地整備事業 (経営体育成型)	輪換田及び畑	水稻	8.7	人	力	30.0	15.4	△ 14.6
				機	械	力	18.0	6.6
		たまねぎ	5.9	人	力	194.5	106.2	△ 88.3
				機	械	力	51.0	14.5
		レタス	19.2	人	力	180.9	134.1	△ 46.8
				機	械	力	26.5	6.1
				人	力			
				機	械	力		
				人	力			
				機	械	力		
	計	33.8						

6. 級地別土地利用区分
該当なし

7. 土地配分計画
該当なし

第3節 用水計画

1. 計画基準年

平成12年 (有効雨量 1/10、連続干天日数 1/10)

2. 計画かんがい方式

区分	かんがい式	代かき期間	かんがい期間	間断日数	備考
輪換田	たん水かんがい	6月15日～6月19日	6月15日～9月10日	—	パイプライン方式
輪換畑	うね間かんがい	—	6月15日～9月10日	5日	パイプライン方式

3. 計画用水系統

計画用水系統図参照

4. 計 画 用 水 量

(1) かんがい用水

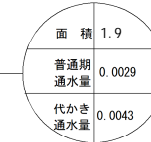
(第10表-1-1)

系 統 名	項 目 種 別	面 積 (ha)	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			田 畑 輪 換						消 費 水 量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量		備 考			
			普通期	代かき期	面 積	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均 間断 日数	面 積	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均 間断 日数	面 積	水田かんがい			畑地かんがい					平 均	最 大				
												計画平 均単位 用水量 (mm/日)	計画代 かき単 位用水 量 (mm)	面 積	計画平 均単位 用水量 (mm/日)	計画代 かき単 位用水 量 (mm)	面 積						一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均 間断 日数	面 積
寒田池掛	農 業 用 水	1.2									9.1 ~14.7	130	1.2				0.002	10%	0.002	0.003	ブロック1				
大池(上池) 掛	〃	1.4					5.5	5	0.2	9.1 ~14.7	130	1.2					0.002	10%	0.002	0.003	ブロック2				
川池掛	〃	12.1					5.5	5	0.5	9.1 ~14.7	130	11.6					0.014	10%	0.016	0.023	ブロック3				
柳池掛	〃	2.9								9.1 ~14.7	130	2.9					0.005	10%	0.005	0.007	ブロック4				
盆の池掛	〃	3.4								9.1 ~14.7	130	3.4					0.006	10%	0.007	0.008	ブロック5				
	〃																								
	〃																								
	〃																								
	〃																								
	〃																								
	〃																								
計		21.0							0.7			20.3													

計画用水系統模式図

神戸淡路鳴門自動車道

ブロック名	2		
面積	0.5		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0008	0.0008	
代かき期	0.0012	0.0012	

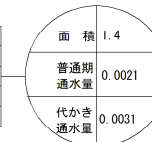


大池

ブロック名	2		
面積	1.4		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0021	0.0021	
代かき期	0.0031	0.0031	

県道洲本松帆線

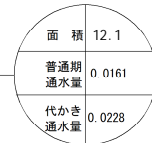
ブロック名	1		
面積	0.2		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0003	0.0003	
代かき期	0.0004	0.0004	



寒田池

ブロック名	1		
面積	1.2		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0018	0.0018	
代かき期	0.0027	0.0027	

ブロック名	3		
面積	10.2		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0138	0.0138	
代かき期	0.0196	0.0196	

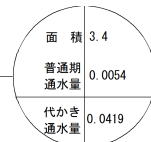


川池

ブロック名	3		
面積	1.9		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0023	0.0023	
代かき期	0.0032	0.0032	

(農業用排水)

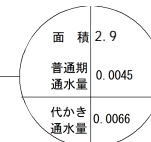
ブロック名	-		
面積	3.4		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0054	0.0054	
代かき期	0.0419	0.0419	



盆の池

(農業用排水)

ブロック名	4		
面積	2.9		
	所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0045	0.0045	
代かき期	0.0066	0.0066	



ヤナ池

凡 例	
---	地区界
□	地区内
□	地区外
○	通水量
○	還元水量
○	漏水機構
---	本事業施工水路
---	他事業又は既設利用
▽	ため池

(±) 用 水 路

(第10表-6)

名称	項目	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事業名					
	農地整備事業(経営体育成型)					
支線 1 号		1.93	0.0315	0.1135	DCIP200、VU200	
〃 2 〃		0.40	0.0067	0.0313	VU75、VU200、VU150、VU125、VU100	
〃 3 〃		1.39	0.0225	0.1449	VU200、VU150、VU100	
〃 4 〃		0.13	0.0022	0.0155	VU75	
〃 5 〃		1.01	0.0161	0.1940	VU150、VU125	
〃 6 〃		0.25	0.0042	0.0028	VU75、VU100、VU125	
〃 7 〃		0.35	0.0046	0.0374	VU75、VU100、VU125	
大池計				0.5394		
支線 8 号		1.34	0.0225	0.0422	VU200	
〃 9 〃		0.49	0.0082	0.0467	VU125、VU75、VU200、VU150、VU100	
〃 10 〃		0.85	0.0144	0.1423	VU150、VU125、VU100、VU75、VU200	
寒田池計				0.2312		
支線 11 号		11.92	0.0567	0.0007	VU300	
〃 12 〃		0.54	0.0090	0.2528	VU300、VU250、VU200、VU150、VU125、VU100	
〃 13 〃		11.18	0.0555	0.2450	VU300、VU100	
〃 14 〃		2.29	0.0382	0.4937	VU250、VU200、VU150、VU125、VU100、VU75	
〃 15 〃		7.13	0.0494	0.1843	VU300	
〃 16 〃		0.48	0.0058	0.1380	VU100、VU75	
〃 17 〃		6.33	0.0471	0.0900	VU200	
〃 18 〃		0.76	0.0127	0.1300	VU100、VU75	
〃 19 〃		5.26	0.0456	0.4748	VP200、VU200、VU150	

(第10表-6)

名称	項目	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m^3/s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事業名					
	農地整備事業(経営体育成型)					
支線 22 号		0.53	0.0076	0.1682	VU100、VP100、VP75、VU75	
〃 23 〃		4.36	0.0429	0.1836	VU200	
〃 25 〃		3.62	0.0419	0.2959	VP200、VU200	
〃 26 〃		0.57	0.0095	0.1281	VU200、VU150、VU125、VU100	
〃 27 〃		1.12	0.0372	0.1368	VU200、VU150、VU125、VU100、VU75、VP150	
川池計				2.9219		
支線 31 号		3.13	0.0413	0.1011	VU200	
〃 32 〃		2.35	0.0392	0.2655	VU200、VU150、VU125、VU100、VU75	
〃 33 〃		0.60	0.0101	0.1050	VU150、VU125	
〃 34 〃		0.32	0.0053	0.0462	VU125、VU100、VU75、VU50	
〃 35 〃		0.25	0.0042	0.1048	VU125、VP125、VU100、VU75、VP75	
ヤナ池計				0.6226		
合計(区画整理工)				4.3151		
支線 27 号 (パイプライン工区)		1.11	0.0279	0.1840	VU150、VU125、VP150	
〃 28 〃		0.28	0.0047	0.0366	VU125、VU100、VU75	
〃 29 〃		0.60	0.0100	0.1651	VU100、VU75	
川池計				0.3857		
支線 100 号		3.52	0.0418	0.4922	DCIP200、VP200、VP150、VP125、VP100、VP75	
盆の池計				0.4922		
合計(農業用排水施設整備)				0.8779		
合計				5.1930		
区画整理 + 農業用排水施設整備						

(第10表-6)

名称	項目	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m^3/s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事業名					
	農地整備事業(経営体育成型)					
				0.0006	VU50	
				0.6420	VU75	
				0.4250	VU100	
				0.6560	VU125	
				0.7640	VU150	
				1.4164	VU200	
				0.0022	VU250	
				0.3990	VU300	
				0.1157	VP75	
				0.0420	VP100	
				0.0832	VP125	
				0.2157	VP150	
				0.3938	VP200	
				0.0374	DCIP200	
合計				5.1930		
区画整理+農業用排水施設整備						

(オ) その他の水源施設

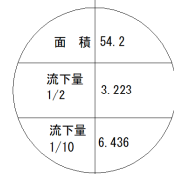
該当なし

計画排水系統模式図

神戸淡路鳴門自動車道

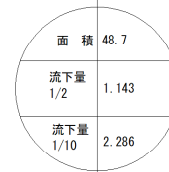
県道洲本松帆線

長田川



ブロック名	2
面積	5.6
排水量1/2	0.191
排水量1/10	0.382

ブロック名	2
面積	48.6
排水量1/2	3.032
排水量1/10	6.054



ブロック名	1
面積	13.1
排水量1/2	0.191
排水量1/10	0.382

ブロック名	1
面積	35.6
排水量1/2	0.952
排水量1/10	1.904

凡	例
-----	地区界
□	地区内
□	地区外
———	本事業施工水路
———	他事業又は既設利用

4. 計画排水量

(第11表-1)

排水 項目 系統名	受益面積(ha)	流域面積		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量		基底流出量		全排水量 (m³/s)			単位排水量		備考
	事業名	(km²)			(m³/s/km²)		(m³/s/km²)		山地	平地		(m³/s/km²)		
	農地整備事業(経営体育成型)	山地	平地		山地	平地	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地	
長田川 (ブロック1)	13.1	0.32	0.16	241	3.75(4時間雨量・4時間排除) 8.88(1時間雨量・1時間排除)	2.92~8.33(4時間雨量・4時間排除) 6.90~19.72(1時間雨量・1時間排除)	-	-	1.006	1.280	-	3.144	8.000	
長田川 (ブロック2)	5.6	0.41	0.13	241	3.75(4時間雨量・4時間排除) 8.88(1時間雨量・1時間排除)	2.92~8.33(4時間雨量・4時間排除) 6.90~19.72(1時間雨量・1時間排除)	-	-	4.353	2.083	-	10.617	16.023	
					-		-	-			-	-	-	
					-		-	-			-	-	-	
					-		-	-			-	-	-	
計	18.7	0.73	0.29	-	-	-	-	-	5.359	3.363		-	-	

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構 造	排水本川		備 考	
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)		計画洪水位 (m)
		農地整備事業(経営体育成型)								
支排1号	0.19	0.73		0.022	0.1026	VU φ 200				
支排2号		18.09		0.722	0.0515	3AP600×1200				
支排3号	0.01	0.71		0.021	0.0483	BF250				
支排4号		0.53		0.015	0.0672	VU φ 200				
支排5号	0.01	0.53		0.015	0.1179	BF250				
支排6号	0.06	7.29		0.288	0.0340	HP φ 1200				
支排7号		4.19		0.129	0.0090	BF350				
支排8号	0.01	1.17		0.036	0.2430	BF250				
支排9号	0.02	3.02		0.093	0.3452	BF300				
支排10号		3.00		0.098	0.0499	BF300				
支排11号	0.04	2.52		0.081	0.3225	BF250				
支排12号		0.09		0.004	0.0221	BF250				
支排13号		0.46		0.015	0.0853	BF250				
支排14号	0.11	54.16		2.010	0.0137	BOX1500×2900				
支排15号	0.06	7.06		0.240	0.0310	BF600				
支排16号		0.11		0.005	0.0268	BF250				
支排17号	0.05	6.77		0.230	0.1534	BF600				
支排18号	0.01	0.02		0.170	0.0787	BF400				
支排19号		0.02		0.015	0.0800	VU φ 200				
支排20号	0.32	47.10	1.769	0.1023	3AP600×2200					
				0.1432	3AP600×2000					
				0.2040	BF250					
支排21号	0.01	5.42		0.213	0.0256	BF600				
支排22号	0.03	0.30		0.151	0.0836	BF400				
支排23号		0.07		0.051	0.1392	BF250				
支排24号		11.01		0.410	0.1214	3AP500×800				
支排25号		0.24		0.007	0.0328	BF250				
支排26号	0.01	6.80	0.248	0.0851	BF250					
				0.2270	3AP500×600					
支排27号	0.02	2.14		0.066	0.2676	BF250				
支排28号		0.21		0.008	0.0392	BF250				
支排29号		0.06		0.003	0.0238	BF250				
支排30号		0.01		0.001	0.0135	BF250				
1号小排		0.11		0.005	0.0488	BF250				
既設水路等										
計				3.4392						

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排水本川			備 考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農地整備事業(経営体育成型)								
					1.7199	BF250				
					0.3951	BF300				
					0.0090	BF350				
					0.1623	BF400				
					0.2100	BF600				
					0.2270	3AP500×600				
					0.1214	3AP500×800				
					0.0515	3AP600×1200				
					0.1432	3AP600×2000				
					0.1023	3AP600×2200				
					0.0340	HP φ1200				
					0.0137	BOX1500×2900				
					0.2498	VU φ200				
計					3.4392					

(4) そ の 他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

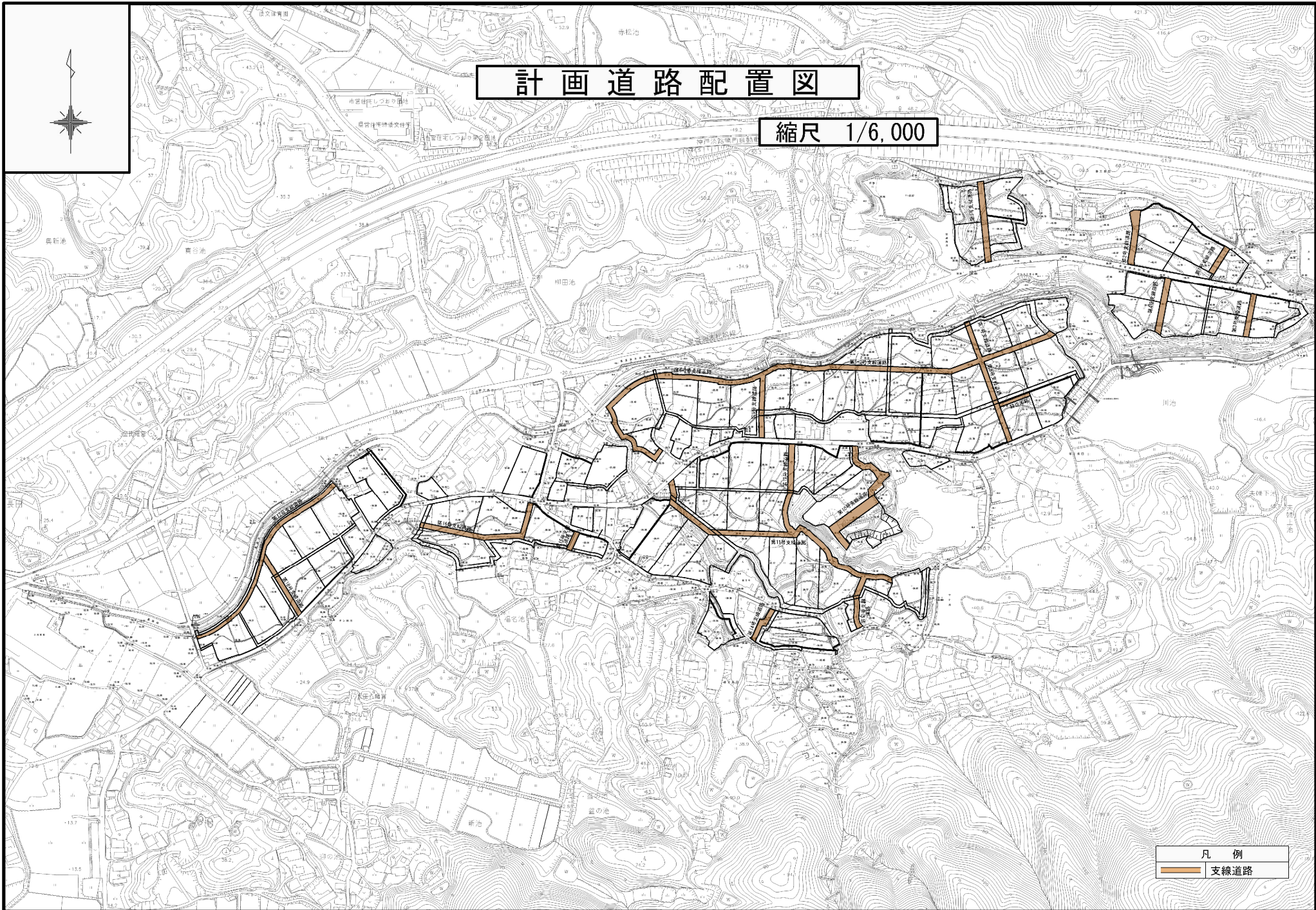
路線名	項目	幅 (有効) (m)	×	延長 (km)	構造	既設道路との関係	備考
1号支線		5.0(4.0)	×	0.038	アスファルト舗装	/	
2号支線		5.0(4.0)	×	0.066	アスファルト舗装		
3号支線		5.0(4.0)	×	0.055	アスファルト舗装		
4号支線		5.0(4.0)	×	0.064	アスファルト舗装		
5号支線		5.0(4.0)	×	0.101	アスファルト舗装		
6-1号支線		5.0(4.0)	×	0.371	アスファルト舗装		
7号支線		5.0(4.0)	×	0.049	アスファルト舗装		
8号支線		5.0(4.0)	×	0.095	アスファルト舗装		
耕作道路		3.0(2.5)	×	0.042	敷砂利舗装		
6-2号支線		5.0(4.0)	×	0.314	アスファルト舗装		
9号支線		5.0(4.0)	×	0.075	アスファルト舗装		
10号支線		5.0(4.0)	×	0.180	アスファルト舗装		
11号支線		5.0(4.0)	×	0.352	アスファルト舗装		
12号支線		5.0(4.0)	×	0.109	アスファルト舗装		
13号支線		5.0(4.0)	×	0.066	アスファルト舗装		
14号支線		5.0(4.0)	×	0.048	アスファルト舗装		
15号支線		5.0(4.0)	×	0.025	アスファルト舗装		
16号支線		5.0(4.0)	×	0.171	アスファルト舗装		
17号支線		5.0(4.0)	×	0.271	アスファルト舗装		
18号支線		5.0(4.0)	×	0.086	アスファルト舗装		
計				2.578			

(2) 索道

該当なし

2. 路線配置図

計画道路配置図参照



計画道路配置図

縮尺 1/6,000

凡例
支線道路

第 6 節 農用地造成計画

該当なし

第 7 節 洪水調節計画

該当なし

第 8 節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-2)

短辺 × 長辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
40 × 50	0.20	15.0	96	0.05～3.0	水田(30a未満)
		0.7	4		畑
計		15.7			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
1.8	地力保全	15	2,700	灰色土壌粘土マンガン型 F51(田)
13.2	地力保全	15	19,800	灰色土壌壤土マンガン型 F53(田)
0.7	地力保全	15	1,050	灰色土壌壤土マンガン型 F53(畑)
(計) 15.7			23,550	

(3) 末端導水路配置図

該当なし

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗 渠 排 水

(第16表-3-1)

区 分	受益面積(ha)		土 壤 統(区)分	基 準 雨 量 (mm/日)	単 位 排 水 量 ($\frac{\%}{s}$ /ha)	計 画 後 の 地 下 水 位 (m)	集 水 渠 出 口 以 下 の 排 水 方 式	備 考
	事 業 名	計						
	農地整備事業 (経営体育成型)							
本 暗 渠	1.8	1.8	灰色土壌粘土マンガン型	50	5.79	0.5	自然排水	F51
本 暗 渠	13.9	13.9	灰色土壌壤土マンガン型	50	5.79	0.5	自然排水	F53
計	15.7	15.7						

(2) 心 土 破 砕

該当なし

3. 客 土

該当なし

4. 農 地 保 全

該当なし

第 10 節 老朽ため池改修計画

該当なし

第 11 節 獣 害 防 護 柵

(1) 獣 害 防 護 柵

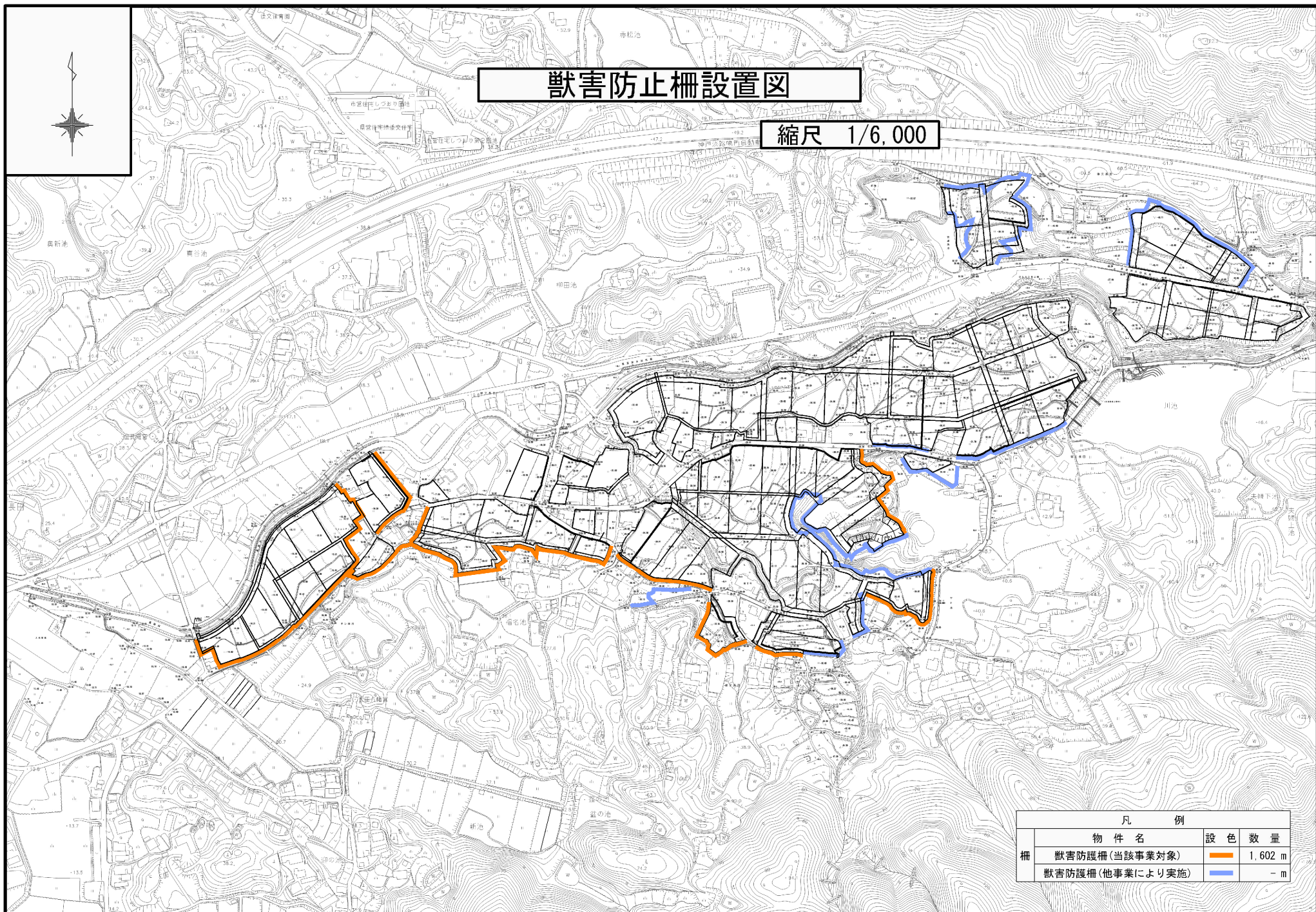
項 目 名 称	位 置	延 長 (km)	構 造		備 考	
			幅(m)	高さ(m)		
獣害防護柵	南あわじ市倭文長田	1.60	パネル式ワイヤメッシュフェンス	2.2	2.0	

(2) 配 置 図

獣害防護柵配置図参照

獣害防止柵設置図

縮尺 1/6,000



凡 例			
	物 件 名	設 色	数 量
柵	獣害防護柵(当該事業対象)	オレンジ	1,602 m
	獣害防護柵(他事業により実施)	ブルー	- m

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工

該当なし

3. 揚水機

該当なし

4. 用水路

(第17表-4)

水路名	項目 かんがい面積 (ha) 事業名 農地整備事業(経営体育成型)	通水量 (m³/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
			開きよ	トンネルその他	計				
支線 1 号	1.93	0.0315	-	0.1135	0.1135	DC1P200、VU200			区画整理
〃 2 〃	0.40	0.0067	-	0.0313	0.0313	VU75、VU200、VU150、VU125、VU100			区画整理
〃 3 〃	1.39	0.0225	-	0.1449	0.1449	VU200、VU150、VU100			区画整理
〃 4 〃	0.13	0.0022	-	0.0155	0.0155	VU75			区画整理
〃 5 〃	1.01	0.0161	-	0.1940	0.1940	VU150、VU125			区画整理
〃 6 〃	0.25	0.0042	-	0.0028	0.0028	VU75、VU100、VU125			区画整理
〃 7 〃	0.35	0.0046	-	0.0374	0.0374	VU75、VU100、VU125			区画整理
大池計				0.5394	0.5394				
支線 8 号	1.34	0.0225	-	0.0422	0.0422	VU200			区画整理
〃 9 〃	0.49	0.0082	-	0.0467	0.0467	VU125、VU75、VU200、VU150、VU100			区画整理
〃 10 〃	0.85	0.0144	-	0.1423	0.1423	VU150、VU125、VU100、VU75、VU200			区画整理
寒田池計				0.2312	0.2312				
支線 11 号	11.92	0.0567	-	0.0007	0.0007	VU300			区画整理
〃 12 〃	0.54	0.0090	-	0.2528	0.2528	VU300、VU250、VU200、VU150、VU125、VU100			区画整理
〃 13 〃	11.18	0.0555	-	0.2450	0.2450	VU300、VU100			区画整理
〃 14 〃	2.29	0.0382	-	0.4937	0.4937	VU250、VU200、VU150、VU125、VU100、VU75			区画整理
〃 15 〃	7.13	0.0494	-	0.1843	0.1843	VU300			区画整理
〃 16 〃	0.48	0.0058	-	0.1380	0.1380	VU100、VU75			区画整理
〃 17 〃	6.33	0.0471	-	0.0900	0.0900	VU200			区画整理
〃 18 〃	0.76	0.0127	-	0.1300	0.1300	VU100、VU75			区画整理
〃 19 〃	5.26	0.0456	-	0.4748	0.4748	VP200、VU200、VU150			区画整理
〃 22 〃	0.53	0.0076	-	0.1682	0.1682	VU100、VP100、VP75、VU75			区画整理
〃 23 〃	4.36	0.0429	-	0.1836	0.1836	VU200			区画整理
〃 25 〃	3.62	0.0419	-	0.2959	0.2959	VP200、VU200			区画整理
〃 26 〃	0.57	0.0095	-	0.1281	0.1281	VU200、VU150、VU125、VU100			区画整理
〃 27 〃	1.12	0.0372	-	0.1368	0.1368	VU200、VU150、VU125、VU100、VU75			区画整理
川池計				2.9219	2.9219				
支線 31 号	3.13	0.0413	-	0.1011	0.1011	VU200			区画整理
〃 32 〃	2.35	0.0392	-	0.2655	0.2655	VU200、VU150、VU125、VU100、VU75			区画整理
〃 33 〃	0.60	0.0101	-	0.1050	0.1050	VU150、VU125			区画整理
〃 34 〃	0.32	0.0053	-	0.0462	0.0462	VU125、VU100、VU75、VU50			区画整理
〃 35 〃	0.25	0.0042	-	0.1048	0.1048	VU125、VP125、VU100、VU75、VP75			区画整理
ヤナ池計				0.6226	0.6226				
合計(区画整理工)				4.3151	4.3151				

水路名 項目	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネルその他	計				
	農地整備事業(経営体育成型)									
支線 27号 (ハイブライン280)	1.11		0.0279	-	0.1840	0.1840	VU150、VU125、VP150			農業用排水
〃 28 〃	0.28		0.0047	-	0.0366	0.0366	VU125、VU100、VU75			農業用排水
〃 29 〃	0.60		0.0100	-	0.1651	0.1651	VU100、VU75			農業用排水
川池計					0.3857	0.3857				
支線 100号	3.52		0.0418	-	0.4922	0.4922	DCIP200、VP200、VP150、VP125、VP100、VP75			農業用排水
盆の池計					0.4922	0.4922				
合計(農業用排水施設整備)					0.8779	0.8779				
合計					5.1930	5.1930				
区画整理+農業用排水施設整備										
					0.0006	0.0006	VU50			
					0.6420	0.6420	VU75			
					0.4250	0.4250	VU100			
					0.6560	0.6560	VU125			
					0.7640	0.7640	VU150			
					1.4164	1.4164	VU200			
					0.0022	0.0022	VU250			
					0.3990	0.3990	VU300			
					0.1157	0.1157	VP75			
					0.0420	0.0420	VP100			
					0.0832	0.0832	VP125			
					0.2157	0.2157	VP150			
					0.3938	0.3938	VP200			
					0.0374	0.0374	DCIP200			
合計					5.1930	5.1930				

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネルその他	計				
	農地整備事業(経営体育成型)									
支排1号	0.73	0.022	-	0.1026	0.1026	VUφ200	1/100			
支排2号	18.09	0.722	0.0515	-	0.0515	3AP600×1200	1/600			
支排3号	0.71	0.021	0.0483	-	0.0483	BF250	1/300			
支排4号	0.53	0.015	-	0.0672	0.0672	VUφ200	1/18			
支排5号	0.53	0.015	0.1179	-	0.1179	BF250	1/300			
支排6号	7.29	0.288	-	0.0340	0.0340	HPφ1200	1/215			
支排7号	4.19	0.129	0.0090	-	0.0090	BF350	1/500			
支排8号	1.17	0.036	0.2430	-	0.2430	BF250	1/300			
支排9号	3.02	0.093	0.3452	-	0.3452	BF300	1/500			
支排10号	3.00	0.098	0.0499	-	0.0499	BF300	1/300			
支排11号	2.52	0.081	0.3225	-	0.3225	BF250	1/300			
支排12号	0.09	0.004	0.0221	-	0.0221	BF250	1/300			
支排13号	0.46	0.015	0.0853	-	0.0853	BF250	1/500			
支排14号	54.16	2.010	0.0137	-	0.0137	BOX1500×2900	1/600			
支排15号	7.06	0.240	0.0310	-	0.0310	BF600	1/300			
支排16号	0.11	0.005	0.0268	-	0.0268	BF250	1/300			
支排17号	6.77	0.230	0.1534	-	0.1534	BF600	1/300			
支排18号	0.02	0.170	0.0787	-	0.0787	BF400	1/500			
支排19号	0.02	0.015	-	0.0800	0.0800	VUφ200	1/500			
支排20号	47.10	1.769	0.1023	-	0.1023	3AP600×2200	1/500			
			0.1432	-	0.1432	3AP600×2000	1/500			
			0.2040	-	0.2040	BF250	1/500			
支排21号	5.42	0.213	0.0256	-	0.0256	BF600	1/500			
支排22号	0.30	0.151	0.0836	-	0.0836	BF400	1/500			
支排23号	0.07	0.051	0.1392	-	0.1392	BF250	1/500			
支排24号	11.01	0.410	0.1214	-	0.1214	3AP500×800	1/500			
支排25号	0.24	0.007	0.0328	-	0.0328	BF250	1/300			
			0.0851	-	0.0851	BF250	1/500			
支排26号	6.80	0.248	0.2270	-	0.2270	3AP500×600	1/500			
			0.066	0.2676	-	0.2676	BF250	1/500		
支排27号	2.14	0.066	0.0392	-	0.0392	BF250	1/300			
支排28号	0.21	0.008	0.0238	-	0.0238	BF250	1/300			
支排29号	0.06	0.003	0.0135	-	0.0135	BF250	1/500			
支排30号	0.01	0.001	0.0488	-	0.0488	BF250	1/300			
1号小排	0.11	0.005								
既設水路等										
計			3.1554	0.2838	3.4392					
					1.7199	BF250				
					0.3951	BF300				
					0.0090	BF350				
					0.1623	BF400				
					0.2100	BF600				
					0.2498	VUφ200				
					0.2270	3AP500×600				
					0.1214	3AP500×800				
					0.0515	3AP600×1200				
					0.1432	3AP600×2000				
					0.1023	3AP600×2200				
					0.0137	BOX1500×2900				
					0.0340	HPφ1200				
計					3.4392					

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 路線名	路 線 名	幅(有効)(m) × 延長(km)	構 造	付 帯 構 造 物			最急 こう配(%)	同左の 延長(m)	最小曲線 半径(m)	備 考
				名 称	構 造	数 量(箇所)				
支線道路	1号支線, 2号支線, 3号支線, 4号支線, 5号支線, 6-1号支線, 7号支線, 8号支線, 6-2号支線, 9号支線, 10号支線, 11号支線, 12号支線, 13号支線, 14号支線, 15号支線, 16号支線, 17号支線, 18号支線	5.0 (4.0) × 2.536	アスファルト舗装				8	—	—	流用土
通作道路	耕作道路	3.0 (2.5) × 0.042	敷砂利舗装					—	—	流用土
							—	—	—	
計		2.578								

(2) 道路主要構造物

該当なし

2. 索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
倭文長田地区	15.0	40×50	20a	15.0	22,500	水田(30a未満)
	0.7	-	a	0.7	1,050	畑

(2) 末端用水路等

該当なし

(3) 末端排水路等

該当なし

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗 渠 排 水

(第23表-4-1)

項 目 区 分	面 積		集 水 渠				排 水 渠						集水渠出口以下の排水施設			備 考
	事 業 名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	農地整備事業(経営体育成型)															
本 暗 渠	15.7	15.7	1/500	塩ビ管	φ100	50	1/500	ポリエチレン有孔管	φ50	0.5~0.7	10	950	排水路	BF	-	
計	15.7	15.7														

(2) 心 土 破 砕

該当なし

3. 客 土

該当なし

4. 除 礫

該当なし

5. 農 地 保 全

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 附 帯 工 事 計 画

獣 害 防 護 柵 L = 1.6 km

第7章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

1. 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

着 手 令 和 2 年 7 月

完 了 令 和 9 年 3 月

2. 工 程 表

工程		年度							
		令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
区画整理	整地工		—————						
	道路工		—————				—————		
	用水路工		—————						
	排水路工		—————						
	暗渠排水工		—————				—————		
	獣害防護柵							—————	—————
農業用排水施設整備	用水路工		—————						

第8章 環境との調和への配慮

1.基本方針

南あわじ市(旧緑町)は、基本理念『光と水と緑が織りなす農村環境の保全と創造』をあげており、農地や農業用施設などの農業生産基盤等の整備にあたっては、農業・農村がもつ環境保全機能の維持・増進を図りつつ、自然資源の保全・活用、生態系や景観などに配慮していくなど、環境保全の対策を考えていく。

2.当該地域の生態系の現況

【植物】154種、【貝類】スクミリンゴガイ、ヒメタニシ、カワニナ、シジミsp、【甲殻類】スジエビ、【昆虫類】シオカラトンボ、ハイイロゲンゴロウ、ヒメガムシ、
【魚類】モツゴ、◎ミナミメダカ、トウヨシノボリ、【両生類】ヌマガエル、【は虫類】ミシシippアカミミガメ

3.当該地区における環境配慮の方法

・ミナミメダカなどの貴重な魚類を保全するため、水量の少ない時にも生息可能となる柵を設置する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

農用地の区画整理とあわせて道路網の整備、用排水路の分離、用水路のパイプライン化による農作業の省力化を図ると共に出入り耕作の解消を目指すこととしたため、全域を一換地工区とする。さらに、当地区は前述の通り比較的裏作も栽培されており、畜産(和牛繁殖)農家も多く有機肥料による高品質を誇っている。利用権等の調整により農地集積に努め、効率かつ安定的な農業経営を目指す。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全区	倭文長田	19.3

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
全区	<p>(1) 換地交付の基準とする従前の土地の地積は、県営土地改良事業計画確定の日の登記簿地積とする。但し、地籍調査において筆界未定地となった土地については、南あわじ市が行う地籍調査での成果を基にし、登記記録地積で按分した地積を実測地積とする。</p> <p>(2) 自小作調整による従前地地積の変動は、地主小作双方合意のうえ農地法第18条第6項、同規則第68条により農業委員会に受理されたもので、自小作解消の申し出のあった土地について申し出の地積により従前地地積を調整するものとする。</p> <p>(3) 既に関買又は寄付による道路・水路敷等で、所有権移転登記が未了の土地は、その土地の所有者の同意を得て、換地上不換地処分とし、従前の土地の対象としない。</p>

4. 非農用地の換地の方針
該当なし

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 土地の評価は、条件差積清算方式により次により行う。

- ① 従前の土地の評価は、条件差区域を除き標準地とし、価額は一律とする。標準地の評価額は1㎡当り600円とする。
- ② 条件差地の価額は、標準地1㎡1点当りの単価に、各条件差区域の評価点数を乗じて算定する。
- ③ 従前の一筆の土地が標準地と条件差区域(特殊地を含む)に重なっている場合は、複合図でそれぞれの面積を求積し、合計が登記記録面積に合致するように差し引き計算率を乗じて算定する。
- ④ 換地の標準地価額は、項目14の修正率が100%以上になるよう設定する。
- ⑤ 条件差地の1㎡当りの価額は、標準地の1㎡1点当りの単価に各条件差区域の評価点数を乗じて算定する。
また、従前の土地及び換地の各筆の評価額は、従前の土地又は換地の地積にその土地の1㎡当りの価額を乗じて算定する。
- ⑥ 土地改良法第5条第7項並びに第85条5項の規定による同意のあった雑種地のうち、国から払下げを受けた二線引畦畔については、調査に基づき、現況が農地となっているものは農地として評価する。

2. 清算の方法

条件差積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
全区	令和3年～令和5年度	令和8年度	令和8年度	

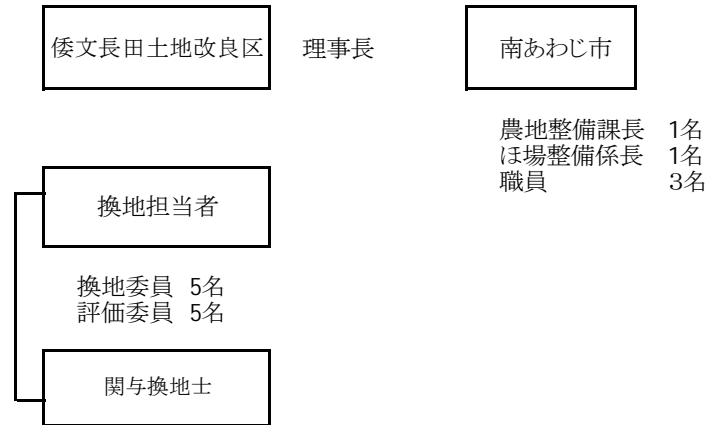
第6節 換地処分の特則

換地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項ただし書きの規定により換地処分を行うものとする。

換地事務処理体制

換地区	選 定 事 務			処 分 事 務		
	直営・委託の 区分及び項目	担 当 者 (委 託 者)	着 手 の 時 期	直営・委託の 区分及び項目	担 当 者 (委 託 者)	完 了 の 時 期
全 区	委 託	換地業者 倭文長田土地改良区	工事着手年度 令和2年度 選定事務着手年度 令和2年度	委 託	換地業者 倭文長田土地改良区	工事完了(予定) 令和6年度 換地計画樹立 令和8年度 換地処分 令和8年度

換地事務処理体制（構造図）及び処理方法



（処理方針）

倭文長田土地改良区事務局、組合員である換地委員、評価委員、および南あわじ市産業建設部農地整備課の連携を密にして事業推進に努める。
 事務関係においては、市職員3名が事務処理にあたるほか、改良区内に換地委員や評価委員を設置し、関係組合員の中から代表で委員を選出し、事業の推進並びに土地改良区運営の補助に当たる。
 また、換地事務に対する取組については上記機構図のとおりであり、関与換地士の指導を受けながら、三位一体となった換地事務処理体制の確立に万全を期する計画である

第 10 章 事業費の総額及び内訳

総額 791,910,000 円
(単位:千円) (第26表)

区 分	事業費
工事費	637,500
区画整理	607,426
区画整理工	565,545
整地工	133,246
道路工	144,510
用水路工	106,336
排水路工	181,453
暗渠排水	41,881
農業用排水施設整備	30,074
用水路工(農業用排水施設)	30,074
用地補償費	10,800
測量試験費	65,300
換地費	29,400
生産基盤付帯整備	11,200
高付加価値農業施設移転等事業	3,200
特認事業(獣害柵)	8,000
事業費	754,200
事務費	37,710
総事業費	791,910

事務費 = 事業費 × 5 % (県営事業)

第 11 章 効 用

区画整理+農業用排水施設整備

(第27表)

事業名	項目		年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額 （千円）	うち機能向上分	現況年総 農業所得額	備 考
	区 分						
農地環境整備事業	食料の安定供給の確保に関する効果		72,645	99,359	99,359		
	作物生産効果		26,335	52,984	52,984		
	営農経費節減効果		46,465	46,530	46,530		
	維持管理費節減効果		△ 155	△ 155	△ 155		
	農業の持続的発展に関する効果		139				
	耕作放棄地防止効果		139				
	その他効果		7,694				
	国産農産物安定供給効果		7,694				
	計		80,478	99,359	99,359	5,426	

総費用（現在価値） 925,954
 総便益額（現在価値） 1,809,476
 総費用総便益比 1.95

区画整理

(第27-1表)

事業名	項目		年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額 （千円）	うち機能向上分	現況年総 農業所得額	備 考
	区 分						
農地環境整備事業	食料の安定供給の確保に関する効果		68,157	91,930	91,930		
	作物生産効果		21,853	45,626	45,626		
	営農経費節減効果		46,530	46,530	46,530		
	維持管理費節減効果		△ 226	△ 226	△ 226		
	農業の持続的発展に関する効果		139				
	耕作放棄地防止効果		139				
	その他効果		6,393				
	国産農産物安定供給効果		6,393				
	計		74,689	91,930	91,930	4,668	

農業用排水施設整備

(第27-2表)

事業名	項目		年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額 （千円）		現況年総 農業所得額	備 考
	区 分			うち機能向上分			
農地環境整備事業	食料の安定供給の確保に関する効果		4,488	7,429	7,429		
	作物生産効果		4,482	7,358	7,358		
	営農経費節減効果		△ 65				
	維持管理費節減効果		71	71	71		
	農業の持続的発展に関する効果						
	耕作放棄地防止効果						
	その他効果		1,301				
	国産農産物安定供給効果		1,301				
	計		5,789	7,429	7,429	758	

第 12 章 関 連 す る 事 業

該当なし

第 13 章 現 況 ・ 計 画 図 面

1. 現況平面図
2. 計画平面図及び土地利用計画図
3. 主要構造図